

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

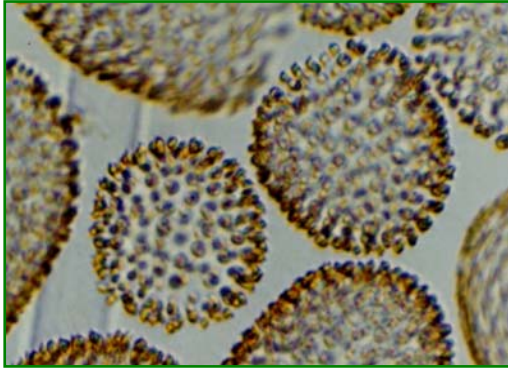
～第11報～

滋賀県琵琶湖・環境科学研究センター  
環境生物担当

平成18年6月12日

## 1. 最も数が多かった種類(優占種)

### 植物プランクトン第1優占種



*Uroglena americana*

(ウログレナ)

黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

### 動物プランクトン第1優占種



*Bosmina longirostris*

(ゾウミジンコ)

甲殻類

体は丸みを帯び、吻端の第1触角が長い  
ためゾウミジンコと呼ばれている。

### コメント

植物プランクトンは、黄色鞭毛藻に属するウログレナが2群体/ml計数され優占種となったが、総細胞数は先週より減少した。動物プランクトンは、甲殻類に属するゾウミジンコが380個体/L、ワムシ類に属するハネウデワムシが340個体/L計数された。ピコ植物プランクトンは、150,000細胞/mlと前回より8倍増加し、そのうちの65%が深赤色の種類であった。

## 2. 見つかった主な<sup>sono</sup>

### (1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体/l)
甲 殻 類	<i>Bosmina longirostris</i>	380

第 2 優 占 種		個体数 (個体/l)
輪 虫 類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	340

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県琵琶湖・環境科学研究センター  
環境生物担当

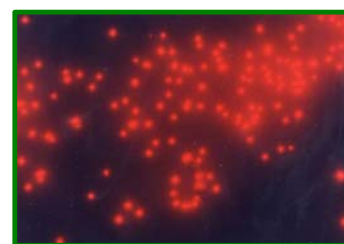
## (2) 植物プランクトン

平成18年6月12日

第11報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	120	◎	
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i>	19		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	16		
(珪) <i>Synedra</i> sp.	10		
(珪) <i>Cymbella ventricosa</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	10		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	10		
(渦) <i>Ceratium hirundinella</i>	3		○
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	100	○	◎
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	120	40.3	8.2
(珪) 珪藻綱	65	21.8	22.3
(渦) 渦鞭毛藻綱	13	4.4	24.6
(褐) 褐色鞭毛藻綱	100	33.6	45.0
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	0	0.0	0.0
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	298	総体積 ( $\mu\text{m}^3$ )	3.78E+05
種類数	9		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。



ピコ植物プランクトン  
1,000倍G励起で撮影

## (3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	6月12日 細胞数/ml
藍藻類 <i>Synechococcus</i> sp.	150,000

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが $0.2\sim 2\mu\text{m}$ ( $1\mu\text{m}$ は $1\text{mm}$ の $1,000$ 分の $1$ )の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。